

私の留学体験記

広島県立安古市高等学校 2年 東 龍平 (ひがし りゅうへい)

留学期間 令和元年7月25日 ~ 令和元年8月10日 (17日間)

留学先 セント・ジョンズ・グラマースクール (アデレード, オーストラリア)

僕がこのオーストラリア短期留学研修を通して一番強く感じたことは、「本当の英語の勉強をすることが必要だ」ということです。ただ英単語や熟語、文法構造やルールを暗記するだけでなく、覚えたことを自分のものにしていくための勉強が必要であると感じました。今回、このように感じた経緯と自らの成長について述べたいと思います。

出発前は自らの英語力、現地での生活など多くの不安がありましたが、参加せずに後悔するのは嫌だと思い参加を決意しました。

初日、ホストブラザーとの対面の後、少し話をしました。その際、出発の際に思っていた不安が的中し、急に頭の中が真っ白になり、習ったはずの文法・単語・熟語が何一つ出てこなくなりました。このことで、今までに勉強してきたことが、まだ十分に自分のものになっていなかったことに気が付きました。また、ホストファミリーの家で日常会話をする際、日本語では簡単だった単語・会話表現が全くわからず、勉強量が大きく不足していることにも気付かされました。しかし自らの英語力不足を痛感することで、自分自身を大きく成長させることが出来ました。

最初の週末を終え、初めての授業の日にその変化を感じました。先生の質問に対し、自ら挙手をしていました。以前であれば、答えがわかっているのに進んで挙手をすることはありませんでした。このように成長できた要因は、ホストファミリーとの関わりにあります。最初の週末、表現がわからず困っていると、ホストファミリーは易しい英語で話しかけてくれました。それにより、わからないながらも、話しかけることが出来るようになりました。また、ホストファミリーは僕の拙い英語を理解しようとしてくれ、伝わったときはとても嬉しかったです。

今回の短期留学を通して、英語の勉強を主体的に行うことの必要性を痛感するとともに、英語で会話をするに対する自信が付き、積極的・主体的に行動できるようになったと思います。このように、自分自身を成長させることができたので、この留学に参加して本当に良かったと思います。